

茨城県開発公社が整備を進めていた、「つくば明野北部工業団地（松原）」の造成が完了し、世界的な産業用ロボットメーカー・ファナック株式会社（本社・山梨県忍野村）の新工場建設が始まりました。

始動 つくば明野北部工業団地

平成17年に「つくば明野北部工業団地」の全用地を取得

茨城県開発公社による、つくば明野北部工業団地整備事業は平成7年に始まり、平成16年には地権者からの用地取得が完了。公社では工業団地の整備とあわせ、参入企業の誘致を進めていたところ、すでに「つくば明野工業団地（向上野）」で操業していた、ファナック株式会社（以下ファナック）が進出を決め、平成17年2月に工業団地の全用地24・6畝を同社1社で取得しました。

CNC装置で世界首位

ファナックは平成元年につくば明野工業団地内に「筑波工場」を操業。ワイヤークット放電加工機とCNC（コンピュータ数値制御）ドリルを製造しています。今回着工した新工場は「筑波工場」の生産機能の増強を担うもので、鉄骨造一部2階建、延床面積は約1万7千㎡で、今年12月の操業開始をめざして建設が進められています。

ファナックの創業者・稲葉清右衛門氏（同社名誉会長、筑西市名誉市

ファナック株式会社が工場建設着工

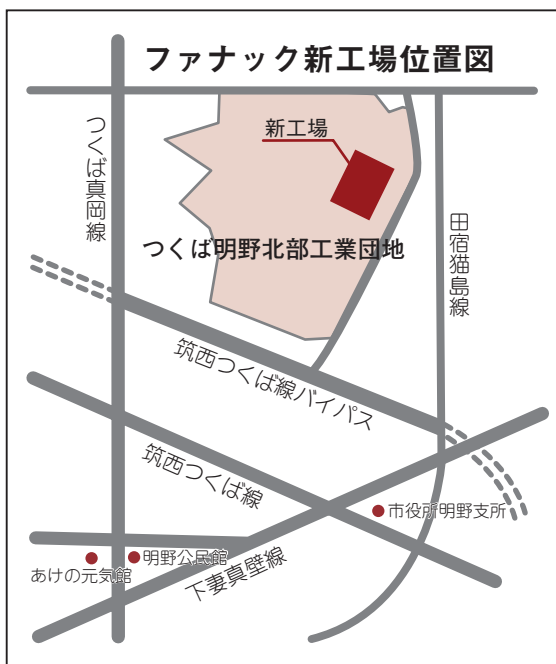
民、筑西ふるさと大使）は市内向上野の出身です。昭和21年に東京帝国大学（東京大学）を卒業後、富士通株式会社に入社。技術者として研究開発に携わり、民間における日本最初のNC（数値制御方式）工作機械を開発しました。昭和47年には稲葉氏が責任者であった計算制御部門が富士通から独立してファナック株式会社となり、専務取締役に就任。昭和50年には同社の代表取締役社長に、平成7年には同会長に、そして平成12年には相談役名誉会長に就任しました。

稲葉氏が築き上げたファナックは国内のみならずヨーロッパ、北米、アジアなどでも事業を展開。平成19年3月期の売上高は3112億円、経常利益が1330億円に達するな

ど、ロボットとFA（自動制御システム）の分野では他の追随を許さない世界のトップメーカーです。筑波工場に続く、今回のつくば明野北部工業団地への工場進出によって、市の税財源の基盤確立や雇用の拡大が期待されます。



ファナックの筑波工場（向上野・平成元年操業）



ファナック株式会社

- 本社 山梨県南都留郡忍野村
- 設立 昭和47年5月2日
- 資本金 690億円
- 売上高 単独3,112億円 連結4,195億円
(平成19年3月期)

出水期に備えて水防訓練を実施

■市消防団など約300人が参加



5月27日、旭ヶ丘（母子島遊水地）で市消防団が、茨城県筑西土木事務所や下館消防署の協力を得て水防訓練を行いました。この訓練は、梅雨の出水期に備えて水防体制の確立と地域における防災意識の高揚を目的に、「集中豪雨で小貝川の堤防に亀裂が生じ決壊の恐れがある」との想定で行ったもので、当日は約300人が参加しました。

開会式で飯泉信団長は「水防活動は人の力の結集なので、実のある訓練にしてほしい」と訓示。「積み土嚢」や「折り返し」などの伝統的な水防工法の訓練を行いました。団員たちは、実践さながらの訓練に真剣でした。

市内一斉クリーン作戦を実施

■2万2千人を超える市民が参加

環境美化や資源の有効利用（リサイクル）をすすめるために5月27日、道路沿いや公園、河川などに散乱している空き缶などの回収を行うクリーン作戦を実施。4地区（下館・関城・明野・協和）一斉に、自治会単位ごとに展開され、各市民団体やガールスカウトなどのボランティア団体も参加し、538か所の可燃ごみや不燃ごみの回収を行いました。下館地区では、鬼怒緑地公園や五行緑地公園、小貝川下流の清掃活動なども行われました。今後も3回予定していますので、多くみなさんの参加をお願いします。



古橋さんと荘さんに特別賞

■第32回茨城県花の展覧会

3月9日から11日まで、「茨城県花の展覧会」がつくばクレオスクエアを会場に開催されました。これは、茨城県、園芸いばらき振興協会、茨



古橋四男さん（写真の花はトルコギキョウ）

城県花き園芸協会、全国農業協同組合連合会茨城県本部の共催により行われているもの。花きの栽培技術と品質の向上を促進するとともに、花とのふれあいを通して県民の理解を求め、花き園芸の振興を図ることを目的として、毎年開催されています。品評会の部に出品された311点の中から16点が金賞に選ばれ、そのうち特別賞として、古橋四男さん（71歳・鷺島）のキャンパニユラ（風鈴草）「ビット」が最高賞である農林水産大臣賞に、荘智裕さん（30歳・辻）のバラ「マリレーヌ」が園芸いばらき振興協会長賞に輝きました。

古橋さんは、「ここまでくるのは失敗の連続でした。苦労して育てた花が評価されて、大変うれしいです。もっといい花を育てて、みなさんに喜んでもらいたいですね」。また、荘さんは、「バラ作りは夢を与える仕事。いい花ができて出荷する時は、やったなという達成感がありますよ。これからも、みなさんに喜んでもらえるようなバラを作れるよう頑張ります」と語ってくれました。



荘智裕さん（写真の花はマリレーヌ）

市役所本庁の窓口時間を延長しています

■毎週木曜日は午後7時まで
7月の実施日＝5日、12日、19日、26日

市では、6月から11月までの毎週木曜日、窓口業務の一部を、午後7時まで試行的に延長しています。仕事などで平日昼間では市役所に来ることができない方は、ぜひご利用ください。詳しくは、各担当課までお問い合わせください。